

雙葉中-対策法

算数 (100点/40分)

【1】【2006年出題内容】

2006年は、例年通り大問6題、小問11題の構成でした。循環小数の規則性や食塩水の濃度や面積(図形の重なり合い)が出題されるなど、全体的に易くなりました。合格点は8割以上だと考えられます。計算ミスや問題の読み違いがあった人の中には、「合格したつもりがふたを開けてみれば不合格だった」という人がいることでしょう。

雙葉中の算数の特徴は、男子校のように抽象的な問い方をするのではなく、身近な題材を用いて具体的にイメージできるように工夫されていることです。ところが、普段から一行問題のようなパターン化された問題ばかりをやっている人には、雙葉の算数はかえって難しく感じるようです。フェリスの問題と雙葉の問題とで相性が分かれるのはこのためです。では、みなさんが雙葉向きかどうか、次の問題でチェックしてみましょう(比を学習済みの人が対象)。制限時間は2題合計で25分、さあがんばれ!

【2】【雙葉中合格力チェック】受験ドクターオリジナル類題

① あるクラスで水田Aと水田Bの稲刈りをしました。水田Aは水田Bの2倍の広さです。初めの1時間は全員で水田Aの稲刈りをし、次の1時間は、クラスを半分ずつに分けて、一方が水田A、もう一方が水田Bの稲刈りをしました。その結果、水田Aはちょうど刈り終わりましたが、水田Bの方は終わらなかったため、何人か残って稲刈りをしたところ、さらに36分かかりました。次の問いに答えなさい。

- (1)最後の36分で刈ったところを、全員で刈っていたら何分かかりますか。
- (2)クラスの数は何人ですか。ただし、このクラスは35人以上45人以下です。

② A君の家の1ヶ月の水道料金は、使用量10m³までは700円で、10m³を超える分については、次の表に従って計算されます(使用量は立方メートル単位の整数とします)。

例えば、1ヶ月に35m³使った場合の水道料金は、

$$700 + 40 \times 10 + 55 \times 10 + 80 \times 5 = 2050 \text{ 円}$$

となります。次の問いに答えなさい。

- (1)今月は先月より10m³多く使ったので料金が先月より460円高くなりました。先月の使用量は何m³でしたか。
- (2)8月の使用量は7月より27m³多かったので、8月の料金は7月より2035円高かったそうです。7月の使用量は何m³でしたか。

使用量(m ³)	1m ³ あたりの料金
10を超え20まで	40円
20を超え30まで	55円
30を超え50まで	80円
50を超え80まで	105円
80を超えるとき	120円

【3】 【 傾向と対策 】

以上の問題は平成 16 年の類題です。雙葉のレベルより若干難しいですから、時間内に全部できなくても心配は要りません。正解は、㊦ (1) 15 分 (2) 36 人 ㊧ (1) 14 m³ (2) 24 m³、となります。むしろ、制限時間いっぱい粘り強く取り組めた人は雙葉の問題と相性が良いはずです。2006 年の問題はあまりにも易しすぎましたから、来年はもう少し読みにくい問題となるでしょう。典型問題について一通り解法が身についた人は、2005 年以前の雙葉の過去問に加えて、豊島岡の過去問も同時に潰しておくといでしょう。

【4】 【 雙葉算数 合格への道程 】



合格可能性 80%



合格可能性 50%



合格可能性 10%

偏差値 (四谷) 君の学年	51~55	56~60	61~65	66~70
5年生の2学期				
5年生の3学期				
6年生の1学期				
6年生の2学期				

雙葉の 80%合格圏(4 科)は、四谷大塚で偏差値 66 以上、センター模試で偏差値 63 以上、サピックスで偏差値 56 以上、が目安です。

雙葉では算国の配点が高いので、算国で勝負をかけざるを得ません。また、普段の勉強では、典型問題だけでなく、例題に示したとおり、問題文に条件が多く掲げている問題に慣れておく必要があります。偏差値 60 未満で停滞している人は、

⇒ [東先生\(元サピックス\)の指導方針](#)

⇒ [石原先生\(元日能研\)の偏差値20アップ学習法](#)

を参照して、これまでの学習法を見直してください。算数の学習法にはセオリーがあります。

雙葉中-対策法

国語 (100点/40分)

【1】【2006年出題内容】

2006年は、①随筆(伊集院静「きみとあるけば」約2600字)、②詩(「グラジオラス」2連19行)+解説文(青木宋「詩を作ってみよう 教科書にでてくる詩や文の読みかた・つくりかた」(約1200字)、③短文作り、④誤字訂正、という内容でした。

例年通り、読解と詩、言葉のきまり、漢字という構成です。読解(心情把握)と詩についてはほぼ記述であり、2006年は記述量が倍増しました。しかも、言葉のきまりと漢字についても、下に掲げた問題のように、ただ知っているだけでなく、使いこなすレベルを要求していますから、まぐれで合格することはほとんどないでしょう。

＝
A～Cについて、()内の三語を使って文を作りなさい。ただし次の注意にしたがうこと。

- ・一文か二文で書くこと。
- ・語の順番は自由。
- ・必要なら語の形をかえてよい。
- ・語の横に――線を引くこと。

(例) ()ばむ・やむをえず・必死 ()

彼は委員を引き受けることを必死になって()ばんだ。そこで、()やむをえず選挙をやり直すことになった。

- A ()軽視・見きわめる・あらかじめ ()
- B ()助けふね・すかさず・けれども ()
- C ()ひときわ・さながら・かきたてる ()

㊦

次の文中の漢字で、間違っているものには×をつけて右横に正しい漢字を書きなさい。また、文中に間違った漢字が一つもない場合には、その文の番号を○で囲みなさい。

- | | | | |
|---|--|--|---|
| <p>9 海の塩風に吹かれて異国に思いをはせる。</p> <p>10 島での暮らしは以外に快的だった。</p> | <p>7 キリストの教えを先生がわかり易く解く。</p> <p>8 わが社に不可欠な人材を育成する。</p> | <p>4 優勝の目標をもって大会に望みたい。</p> <p>5 純心な子どもの頃に戻りたい。</p> <p>6 薬の服作用で内蔵が弱る。</p> | <p>1 好評だったため展覧会の会期が伸びる。</p> <p>2 電気器具の点検をしよう。</p> <p>3 登山クラブの責任者を勤める。</p> |
|---|--|--|---|

【2】【 傾向と対策 】

雙葉の試験時間は、多くの中学校より少なく、40分しかありません。一問あたり3～5分しかありませんから、簡潔かつ的確な記述力が必要です。記述について字数制限はありませんが、思いついたことを適当に並べただけでは得点に結びつきません。

雙葉の記述対策には、自分で文章の組み立てを考えて実際に書き、それを自分で読んで論理が通っているかどうかを検証する訓練が有効です。頭の中で考えていることを文章に書き出してみると、客観的に自分の頭の中を見ることができます。頭では論理的だと思っても、書き出してみれば筋が通っていないことがしばしばあります。これは辛い訓練ですが、選択問題の多い問題を何題解いても麻布には合格することはできません。また、授業でやった問題をやりっ放しにするのもいけません。まとまった文章について、自分自身の頭で考えて要約文を書く訓練が必要です。

そのためには、まず、書くことに慣れましょう。最初のうちは書いたものを先生や親に読んでもらい、論理的かどうかを指摘してもらうのがよいでしょう。書くことに慣れてきたら、次は書き直してみましょう。書き直して筋が通るようになれば、雙葉合格まであと一歩です。最終段階では、本文からキーワードを抜き出し、それらを組み合わせて論理的な文章を書いてみましょう。試験時間60分はあまりにも短いからです、時間内で解き切るには、自在な表現力・論理力を身につけておく必要があります。

雙葉記述 対策法



解きっぱなし・読みっぱなしにしない

⇒まずは要約文を書くことに慣れましょう

⇒論理的にまとめられているかどうか先生や親に見てもらいましょう



自分が書いた要約文を書き直してみましょう



本文からキーワードを抜き出し、それらを組み合わせて論理的な文章を書いてみましょう



雙葉の問題が早く解ける！

【3】【 雙葉国語 合格への道程 】



合格可能性 80%



合格可能性 50%



合格可能性 10%

偏差値 (四谷) 君の学年	51~55	56~60	61~65	66~70
5年生の2学期				
5年生の3学期				
6年生の1学期				
6年生の2学期				

雙葉の 80%合格圏(4科)は、四谷大塚で偏差値 66 以上、センター模試で偏差値 63 以上、サピックスで偏差値 56 以上、が目安です。

雙葉では算国の配点が高いので、算国で勝負をかけざるを得ません。また、記述だけでなく、漢字・語句も含めて、まぐれで正解することはできません。ですから、早い時期から国語の成績を安定させることが雙葉合格には大変有効です。国語には正攻法があります。詳しくは、

⇒ [永田先生\(日能研\)の国語教室](#)

⇒ [国語偏差値20アップ学習法](#)

を参照してください。

雙葉中-対策法

理科 (50点/25分)

【1】【2006年出題内容】

2006年は、大問1が物理・化学の融合問題(溶解・中和を中心に)、大問2は生物(動物)、大問3は地学(気象)が出題され、4分野が満遍なく問われています。

下の問題は2006年の大問2です。雙葉では、DNAやクローンなどのように、必ずしも教科書で習うとは限らない事柄を説明し、それに対する理解力と応用力をみる設問が出題されます。「理科は、実験・観察を通じて得られた結果から一定の結論や法則を導き出す力と、それを別の事象にあてはめる力を養う教科である」、というメッセージなのです。また、大問1[問8]のように「下線部3のみどりさんの考えは正しいですか。それともまちがっていますか。理由を述べて答えなさい」というように、自分の考え述べさせる問いが出題されます。これには、普段の勉強から主体的に学習に取り組んでいる生徒を入学させたい、という意図があります。

=2006年大問2

2

小学6年生の花子さんは、学校で次のような話を先生から聞きました。これについてあとの問いに答えなさい。

生物のからだには、その形や性質を決める設計図のようなものが含まれています。それは遺伝子と呼ばれ、遺伝子には毛の色、顔の形、胃の形、心臓の形、手足の指の数などの情報が入っています。遺伝子はどのような物質かというところ、 という物質であることがわかっています。

わたしたち人間の遺伝子は一人一人少しずつちがっています。ヒトを含めたいろいろな生物の遺伝子を調べることが最近行われており、(1) 生活の中でも利用されています。そのことは 鑑定と呼ばれています。

遺伝子について次の実験が知られています。イギリスのガードンという科学者は1964年に、アフリカツメガエルというカエルを使って、次に示すような実験を行いました。

アフリカツメガエルには、からだの色が茶色いものと、白い色のものがあります。

- ① 白いアフリカツメガエルの卵に紫外線をあて、その卵に含まれる遺伝子をこわし、はたらかないようにする。
- ② 茶色のアフリカツメガエルのオタマジャクシを解剖して小腸を取り出す。そしてその小腸から遺伝子を取り出す。
- ③ ②で取り出した遺伝子を①の卵に入れる。
- ④ ③の卵をいくつか用意して発生させると、茶色のアフリカツメガエルだけが育った。

④で育った茶色のアフリカツメガエルのような動物は 動物と呼ばれています。 動物は現在ヒツジや(2) ウシでもつくることができます。しかし、ヒトで をつくることはゆるされていません。

【2】 【 傾向と対策 】

雙葉の理科は試験時間が25分と短いこともあり、問題文に無駄がありません。読解問題だと思って念入りに問題を読み、問題文の流れに沿ってテンポよく解いていけるかが合否の分かれ目になります。そのため、「見たことのないテーマが出題されてもその場で考える読解力」、「自分の考えを聞かれても論理的に答えることができる表現力」がないと、立ち止まって時間を浪費してしまいます。

雙葉対策としては、ただ暗記に頼るのではなく、根本原理に立ち返って考えるクセをつけていく必要があります。例えば、天体では「自転・公転・向き・周期」という根本原理から太陽・月・星を区別して説明できるかどうか、突き詰めて考えるようにしてください。初めは苦しいのですが、根本的に理解していれば、かえって暗記量も減らすことができます。

【3】 【 雙葉理科 合格への道程 】



合格可能性 80%



合格可能性 50%



合格可能性 10%

偏差値 (四谷) 君の学年	51~55	56~60	61~65	66~70
5年生の2学期				
5年生の3学期				
6年生の1学期				
6年生の2学期				

雙葉の 80%合格圏(4科)は、四谷大塚で偏差値 66 以上、センター模試で偏差値 63 以上、サピックスで偏差値 56 以上、が目安です。

雙葉の理科は、思考力を問う問題も知識を問う問題もバランスよく出題されます。そのため、合格者の理科の成績は安定している人が多いようです。

理科は小 6 の 2 学期からと考えている人もいますが、早い時期から 1 週間に 1 日は必ず理科に勉強時間を割り振って、着実な偏差値アップを目指してください。

雙葉中-対策法

社会 (50点/25分)

【1】【2006年出題内容】

2006年は、大問Ⅰが歴史・地理融合問題、大問Ⅱは近世の産業、大問Ⅲは日本の農業、大問Ⅳは人権・時事問題が出題されました。問題数は31題と例年並みで、25分という制限時間内で解き切るには手際よさが重要です。

本年度で雙葉らしい問題といえば、大問Ⅰです。次の問題をみてください。

- Ⅰ 歴史が好きな花子さんは、夏休みに博物館に行き、展覧会を見学してきました。花子さんが興味をもった出土品・絵画・史料などに関する次の文章を読んで、下の問いに答えなさい。

「日本のあけぼの」という展示室で、岩宿遺跡から出土した石器や、野尻湖の遺跡から出土した石のナイフやナウマンゾウの牙、オオツノジカの角などを見学した花子さんは、この頃の地球の気候が現在よりも寒く、日本列島と大陸とが①【 】ため、もともと大陸にいたナウマンゾウやオオツノジカが日本に来ることができたということを知りました。そして、この時代の人びとがまだ農耕を開始しておらず、石でつくった道具で動物を狩って食料にしていたことを理解しました。

次のコーナーには②三内丸山遺跡から出土したものがたくさん並んでいました。植物で編んだポシェットやヒスイの玉などの多様な出土品を見て、花子さんは思っていた以上にこの時代の人びとの生活が豊かだったことを実感しました。先へすすむと、③板付遺跡や登呂遺跡などの出土品が展示してありました。日本の石包丁のとなりには、朝鮮半島から出土したさらに古い時代の石包丁が並べてありました。日本と朝鮮半島の道具がそっくりだったので、花子さんは大変驚きました。

「平城京と貴族」という展示室では、④都の跡から出土したたくさんの木簡に興味をひかれました。そのなかには、大豆・わかめなどに付けられていた荷札がいくつもありました。説明文には、「これらの荷札は、全国の農民が納めた税につけられていた。税は、農民自身が、往復の食料を自分で用意して都まで運ばなければならなかった」と書いてありました。

⑥「武士と民衆の生活」という展示室では、⑥鎌倉時代の東国武士の農村での日常生活などを描いた「男衾三郎絵巻」を見ることができました。武士が三人がかりで弓のつるを張ったり、武具の手入れをしたりしている、教科書に載っていた部分だったので、花子さんはとても感激しました。

次に花子さんは、室町時代の風俗を描いた「月次風俗図屏風」に注目しました。これも教科書に載っていました。⑦田植えをする女性たちのそばで笛やたいこにあわせておどる人びとや、牛や馬を使った農作業の風景など、この時代の農村の姿が生き生きと描かれていました。

「天下統一への道」という展示室には、織田信長や豊臣秀吉が出した命令文が並べてありました。その一つには、「諸国の百姓が刀、槍、鉄砲などの武器をもつことをかたく禁止する。百姓が必要のない道具をもっていると、年貢をだししぶり、⑧一揆をくだて、領主によくないことをするようになる」と書いてありました。そのほかに、秀吉が朝鮮を二度にわたって攻めたときに日本につれて来られた人びとやその子孫によってつくられた⑨ものも展示してありました。

【2】 【 傾向と対策 】

上の問題は、旧石器時代から戦国時代までの広汎な期間にわたるリード文を読ませて、骨太な理解を問うものです。こうした出題形式は、平成17年Ⓐ、平成16年Ⓐ、平成12年Ⓐ、平成10年Ⓐ、平成8年Ⓐの流れを汲むものであり、また、出題内容は文化・外交・産業が中心です。文化史、外交史など、一つのテーマについて縦断的に学習しておく必要があります。

出題形式については多肢選択式が中心で、選択させる方式は「正しいものを選べ」「正しくないものを選べ」「並べ替えたあと最初から3番目を選べ」など紛らわしいのが特徴です。あせっていると誤りやすくなっていますから、問いの核心部分には下線を引いて強調するなどしながら読まなくてはなりません。各の長さは慶應系列校などに見られるものより長く、知識そのものよりも背景を問うものが多いといえます。できれば、筑駒の過去問もやっておくとよいでしょう。

図表の読み取りは必ずできますから、普段から図表の意味・特徴を説明する訓練をしておきましょう。

【3】 【 雙葉社会 合格への道程 】



合格可能性 80%



合格可能性 50%



合格可能性 10%

偏差値 (四谷)	51~55	56~60	61~65	66~70
君の学年				
5年生の2学期				
5年生の3学期				
6年生の1学期				
6年生の2学期				

雙葉の 80%合格圏(4科)は、四谷大塚で偏差値 66 以上、センター模試で偏差値 63 以上、サピックスで偏差値 56 以上、が目安です。

理科と同様、雙葉の社会は、思考力を問う問題も知識を問う問題もバランスよく出題されます。そのため、まぐれで高得点をとることは困難です。白地図を作ったり、年表を作ったりするなど、地道な勉強こそが雙葉合格のための最短距離といってよいでしょう。

また、疑問があれば調べるなり質問するなどして解決する姿勢が大切です。